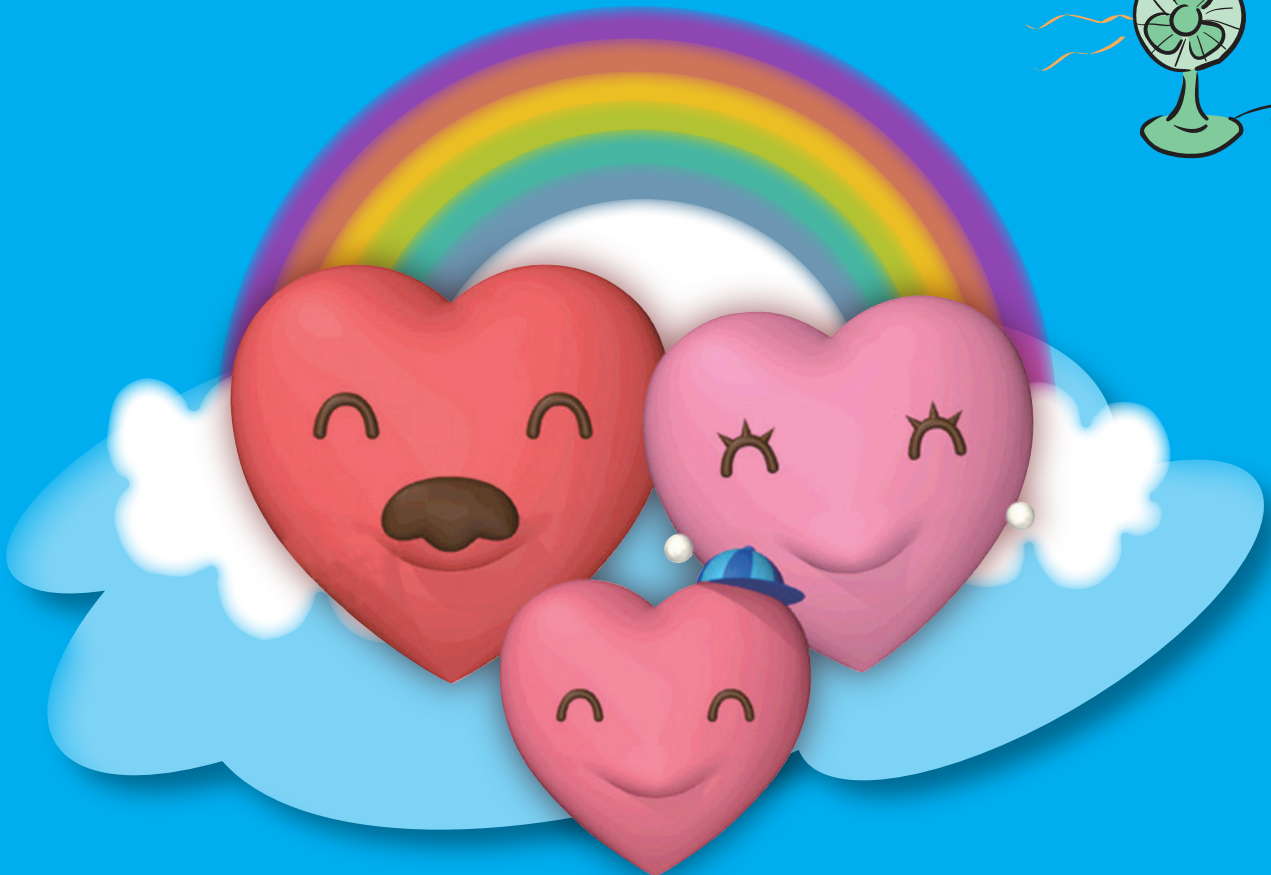
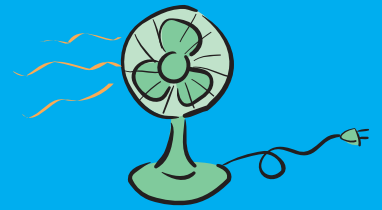


個性が輝く
おんな & おとこ
まちが輝く

とっぎゃざー

みんな仲良く一緒に

2015.9.第13号



八女市男女共同参画の実現に向けて

情報誌「とっぎゃざー」は、男女ともに個性と能力が十分に発揮できる八女市を願って名付けました。



うちだ あけみ
内田 朱美 さん

星野村では平成2年から山村留学制度を取り入れ、全国各地から子ども達を受け入れていました。当初は個人の家庭にホームステイという形で預かっていましたが、平成11年からは山村留学センターを立ち上げ、今年度はセンター長と内田さんの2名が3年生から6年生の子ども達8名と生活を共にしています。

小学5～6年生のとき星野村で山村留学を経験し、本年4月から指導員として星野村に帰ってきた内田さんを、田植えのイベントと共に取材させていただきました。



取材日 2015年6月14日

取材者 指導員になられたきっかけを教えてください。

内田 自身、小学5年生から6年生の2年間、星野村で山村留学生として生活をしました。（現在留学期間は1年間で、2年連続はできません。）現センター長の石川信男先生が指導員でいらっしゃいました。

当時、指導員になりたいと言っていました。が、中学、高校、大学生になつたら、そんな気持ちも忘れてしまっていました。でも、大学4年生の時、子ども達と関わりたと思うようになり、大学を卒業して本年4月から指導員として子ども達と暮らし始めました。

取材者 小学生の時は、自分の意志で山村留学をしようと思われたのですか。

内田 実は私の姉と妹も山村留学を経験していて、姉が山村留学をしていた時、どんなところか分かっていたので、私も行きたいと両親に言いました。

取材者 当時、山村留学にどんな魅力を感じましたか。

内田 ヤマメのつかみ取り、田植え、茶摘みという色々なイベントがあるんですけど、石川先生やみんなと共同生活をするのがとても楽し

かったです。寮母さんのご飯も美味しかったです……。

でも、最初はホームシックになっていました。



田植え前の泥合戦で子ども達から一斉攻撃！

取材者 ここは安らぐでしょう。

内田 そうですね。センターから見える景色は緑がいっぱいで、いつも鳥の鳴き声が聞こえて安らぎます。私の実家は久留米市で、週に一度家に帰るのですが、なんだか車が多くて、途中から早く星野に帰りたくなります。

今はまだ指導員として来たばかりなので、いろんな方に認めてもらうためにも緊張感を持っておきたいです。



泥だらけ・・・

取材者 ご自身が山村留学を経験されたからこそ、子ども達を理解できることが多いのではありませんか。

内田 そうですね。子どもの時と大人になってからは見える世界が全然違ってきます。こんなことを大人は考えていたんだなあと思いました。（笑）

子ども達は常識なども含めて、みんな持っているものが違います。私自身小学生の時ここで生活をしていて、自分が当たり前だと思っていたことがそうではないと知りました。山村留学の子達に対して「何でそんなことをするの」と言いたくなることもあります。それがその子にとって普通のことなら否定することではなく、大人の常識を当てはめるのは間違っていると思います。でも、全てを受け入れるだけではなく、人に迷惑をかけるようなことをした時は注意しています。

また、山村留学に関わってくださいる地元の方の力は大きいですね。地元の方から子ども達はとても多くの事を学んでいると思います。



取材者 星野にずっと住みたい気持ちがありますか。

内田 居たいですね。ここに住んでいると、都会には戻りたくないと思います。

取材者 地元の方と結婚して定住と、ということもあり得ますよね。

取材者 スタッフは何人ですか。

内田 石川先生と私です。食事の支度は二人でします。学生時代は実家暮らしだったので、洗濯機も回したことがなく、料理の腕もいまいちでしたが、ここに来て料理がかなり上手くなりました。子ども達が平日は宿題があるのでできませんが、休日は手伝いをしたがるので、一緒にする時があります。でも包丁を使う手元が危うくて見てられないこともあります。(笑)



取材を終えて

星野の山村留學生が指導員として帰って来たのは、内田さんが初めてだそうです。子ども達と年齢が近いせいか、「あけちゃん」の愛称で呼ばれ、とてもいい関係が築かれていると感じました。内田さんが教えた子ども達が大人になって、また星野に戻って定住してくれそうですよ。

取材者 夢を教えてください。

内田 子ども達が途中でやめることがないように、しっかりと繋がっていききたいです。

また、「おどんが里」という山村留学の広報誌を毎月発行し、センターの日常を4コマ漫画にして掲載しています。いつか山村留学を題材にした漫画を描きたいと思っています。

内田 う〜ん、あり得なくはないですね。ご縁があれば定住したいです。(笑)

取材者 山村留学の一番の魅力は何だと思いますか。

内田 友達と色んな体験ができること。季節ごとの空気を一年中感じていられること。星野に住んでいたという記憶が鮮明に残るので、ふるさとのようなつかしさを強く感じられることです。



豚キムチ炒飯

材料 (4人分)

豚こまぎれ肉.....200g
しょうゆ.....大さじ2
ごま油.....大さじ2
キムチ.....200g
ご飯.....茶碗4杯分
A マヨネーズ.....大さじ3
しょうゆ.....適宜
牛乳.....大さじ1



作り方

- ① 豚肉は食べやすく切ってビニール袋に入れ、しょうゆをもみ込んでおく。
- ② フライパンにごま油を熱し、豚肉を炒める。おいしそうな焦げ色がついたら、キムチを入れてさらに炒め、半量はボウルなどに出す。
- ③ ②のフライパンにご飯2杯分を入れて炒め、よく混ぜたら皿に盛る。
- ④ 残り2杯分も同様に炒め、皿に盛る。
- ⑤ Aを合わせてたれを作り、好みで炒飯にかける。

※4人分を炒めるとご飯がダマになる人は、上の要領で2人分ずつに。

きゅうり・コーン・トマトのサラダ

材料 (4人分)

きゅうり.....1本
塩.....適宜
粒コーン缶.....1カップ
プチトマト.....適宜
マヨネーズ.....大さじ2



女もすなる料理といふものき



簡単料理 レシピ

男もしてみむとて、するなり

作り方

- ① きゅうりは小口切りにして塩もみし、水けをしぼる。
- ② 缶汁をきったコーンときゅうりをマヨネーズであえる。
- ③ トマトを小さく切って散らす。



かぼちゃ・玉ねぎの味噌汁

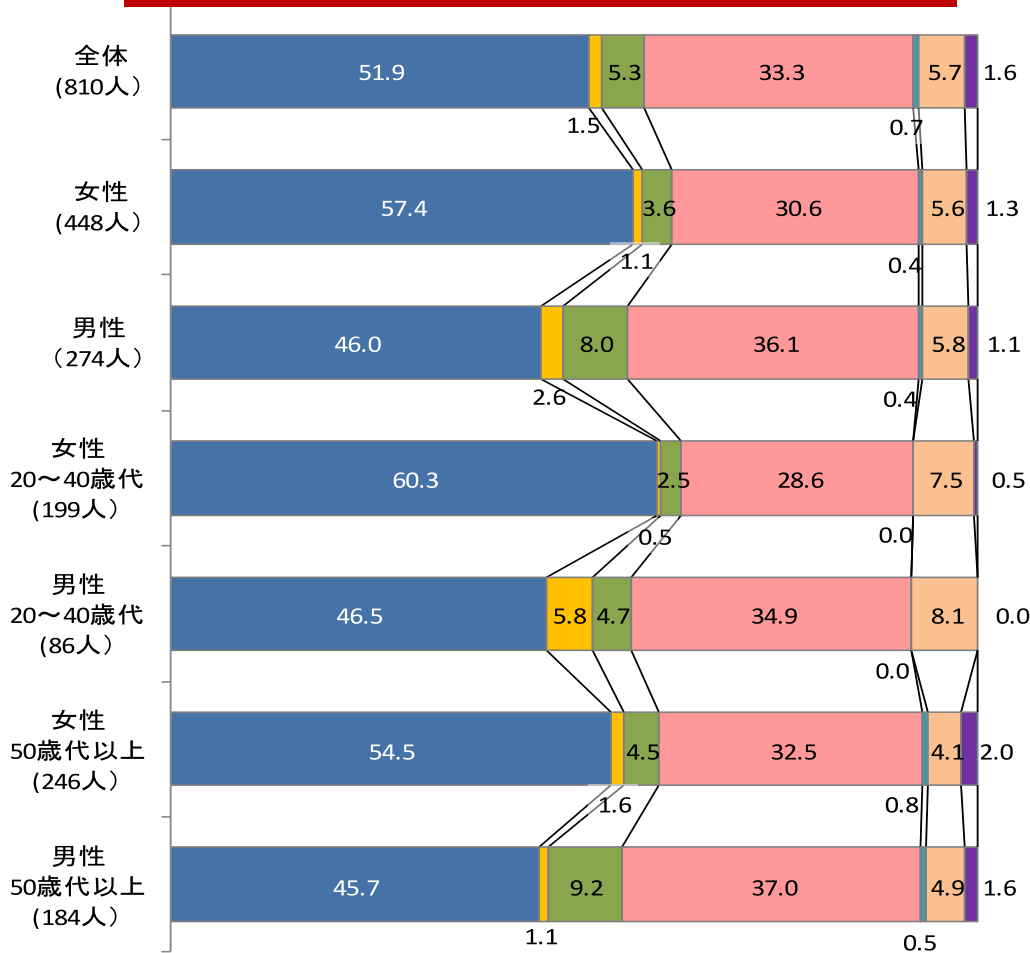
材料 (4人分)

かぼちゃ.....1/8個
玉ねぎ.....1/2個
昆布 (1×10cm) ...1枚
削り節.....適宜
みそ.....大さじ3

作り方

- ① かぼちゃは1cm厚さの一口大に切り、玉ねぎはざく切りにする。
- ② 鍋に水3カップと細く切った昆布、手でもんだ削り節を入れ、火にかける。煮立ったら、かぼちゃと玉ねぎを加え、蓋をして弱火で煮る。
- ③ かぼちゃが柔らかくなったら、味噌を溶き入れてひと煮する。

女性が職業をもつことについて、あなたはどうお考えですか



変わる 女性の職業感



※性別・年代不明があるため、全体の数と一致しません。

- ずっと職業を持っている方がよい
- 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- 子どもができるまでは職業をもつ方がよい
- 子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- 女性は職業を持たない方がよい
- わからない
- その他

男女共同参画に関する市民の意識を調査し、今後の施策の参考とするため「男女共同参画のまちづくりに関するアンケート」を今年5月に実施しました。問「女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか」の調査結果をお知らせします。

「ずっと職業をもつ方がよい」（就業継続型）で51・9％、「子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい」（出産離職―再就職型）が33・3％でした。前回調査では、出産離職―再就職型の方が就業継続型より3・1ポイント多かったのですが、今回は順序が逆転しており、離職せずに職業を継続する考えが強くなっています。特に若い世代の女性を中心に、女性の働き方に対する意識が変わってきていることが伺えます。



「自分らしく」

男女共同参画絵手紙作品表彰

6月、「自分らしく」をテーマに絵手紙作品を募集したところ、応募いただきありがとうございました。入賞作品の一部をご紹介します。

【最優秀賞】 松尾 貞義さん



【優秀賞】 西木 輝子さん



【作品展】 おりなす八女

(9月15～24日)



QUESTION

八女市議会議員さんに聞きました



平成27年6月実施 アンケート対象人数 26人（内未提出 1人）

問1 男女共同参画情報誌「おんな&おとこ とうぎゃざー」を読んだことがありますか。

・ある 11 ・ない 14

問2 「男は仕事、女は家事・育児・介護等」という固定的性別役割分担の考え方について、どう思いますか。

・そう思う 1 ・そう思わない 14 ・どちらとも言えない 10 ・わからない 0

問3 市政に女性の意見や考えが反映されていると思いますか。

・十分反映されている 2 *ほとんど反映されていない 1
・ある程度反映されている 17 *あまり反映されていない 5



問4 問3の回答が*印の方にお尋ねします。女性の声が反映されていないと思われるのは、主にどのような理由からですか。（回答は1つ）

・議会や行政機関の審議会などの政策・方針決定の場に女性が少ないから 1
・女性の考えや意見に議会や行政の関心が薄いから 0
・女性の側の積極性が足りないから 1
・男性優位の組織運営だから 2
・女性の能力開発の機会が少ないから 2
・わからない 0
・その他（具体的に） 0

問5 あなたは、次のような言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。

	はい	いいえ	無回答
女性差別撤廃条約	10	14	1
男女共同参画社会基本法	22	3	
八女市男女共同参画のまちづくり条例	25		
男女雇用機会均等法	25		
ドメスティック・バイオレンス	22	3	
セクシャル・ハラスメント	22	3	
リプロダクティブ・ヘルス・ライツ	2	22	1
育メン	22	2	1
ストーカー行為規制法	23	2	
ポジティブ・アクション	10	15	
ワーク・ライフ・バランス	12	13	



問6 あなたは、女性の人権や男女共同参画について、学んだり知識を深めたりしたことがありますか。

ある 13 ない 5 無回答 7

問7 問6で「ある」と答えた方にお尋ねします。学習されたのはどこですか。（複数回答可）

・家庭 2 ・大学の講義 2 ・県や市主催の講座 8 ・公民館主催の講座 2
・民間のカルチャーセンター 0 ・職場の学習会 1
・メディア（テレビ、新聞、雑誌や出版物、インターネット等） 6 ・その他 0

問8 女性は農業人口の過半数を占め、農業や地域の活性化で重要な役割を果たしています。農業分野での男女共同参画推進のためには、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。（複数回答可）

・農業委員会・農業協同組合における女性委員や女性役員の登用推進 13
・家族経営協定（近代的な家族農業経営）の締結数の推進 3
・仕事と生活のバランスに配慮した働き方の推進 14
・女性の認定農業者の増加推進 5
・その他 0

問9 最近子どもの貧困問題が話題になっており、6人に1人の子どもが貧困に苦しんでいるというデータがあります。八女市でも緊急な対策が必要だと考えます。どんな施策が考えられるか、具体的に述べてください。（回答者10人）

①子育て中の保護者に対して最大の援助をすること。

＊保育料の無料化 ＊給食費の無料化 ＊中学を卒業するまでの医療費の無料化

②貧困家庭には、ある程度の支援が必要だと思う。

③給食費無料化・中学生までの医療費無料化（入院を含む）

④子どもは生まれたときから平等であり、家庭の経済状況で教育を受ける際に格差があってはならないと思う。そのため、せめて給食費の無料化を実現してもらいたいし、保育料の無料化も訴えていきたいが、各々自治体でこの取り組みで競争しても限界がある。本来は子育てに関する支援は、国の将来のためにも、一本化して政策を進めて頂きたい。

⑤教育を一律に受けられる体制づくり・生活面での経済的支援

⑥教育費の無料化（給食費も含む）・生活保護の充実・親世代の教育

⑦保育所等の経費支援、無償化・学校給食費支援

⑧ひとり親家庭への対応

＊親から子への連鎖がないよう、親への就労面、子どもへの学習面へのサポートが必要であると思う。

⑨教育を受ける環境の充実。（塾等に行きたくても、家庭の事情で行けない子ども達が増えている。）下校した後、公民館等でボランティア（教師OB等）による学習の推進が必要であろう。

⑩できれば八女市の子どもたちの貧困の実態を知らせてほしい。そうでないと緊急な対策をどうとるか分かりません。



妻肥満介護になったら俺悲惨

惚れ込んだえくぼもいまやシワの中

早送りしたい女房の愚痴小言

男と女の川柳



介護して再び芽生える夫婦愛

円満の秘訣は会話をしないこと

長期旅
出かける背中にVサイン

長期旅



旅行中



本号の取材で訪れた星野村の山村留学生が生活する「星の自然の家」は、山桜の自生地で見られる石割岳への道筋にあり、周囲は田畑や民家が拡がり、見晴らしのよい所です。

当日は小雨も降り肌寒く、子どもたちは震えていましたが、いざ田植えが始まると、家族も一緒になって田んぼに入り、歓声を上げて初体験を楽しんでいました。

山村留学体験者の内田さんだからこそ、これから何度もここでしかできないことを心に刻んで成長していく子どもたちに、楽しいことは何倍にも、悲しい時や辛い時には、そっと寄り添って、内田さんにとっても忘れられない思い出づくりの一年になってほしいと思いました。

情報誌の編集に関わって二年目。会議に出席する度に、知らなかったことや分からないこと、気づいていないことに会います。「みんな仲良く一緒に」歩んで行けたらと思います。

くらぼれーと Y・N

編集後記

